



議会だより



CONTENTS

6月定例議会の概要	2～3
一般質問	4～10
横手北中生が議会傍聴	10
常任委員会・分科会審査報告	11～13
議長会表彰、表紙の写真募集	14
議会報告会・意見交換会	15
市民の声、議会の主な動き	16

あやめまつり（平鹿）

表紙の写真
大募集!

詳しくは14ページをご覧ください。

共通商品券で賛否分かれるも採決の結果、可決

6月定例議会の概要

6月定例議会の録画映像は、横手市ホームページの議会のページでご覧いただけます。
〔市議会トップページ〕→議会広報→市議会中継（録画）→平成28年6月定例会〕

6月定例議会のあらまし

6月定例議会は、6月13日から29日までの17日間の日程で開催されました。

初日は、繰越計算書等の報告案件10件の報告を受けた後、承認案件5件を承認しました。続いて条例の一部改正や財産の取得などの議案10件と、平成28年度一般会計補正予算などの補正予算議案2件が提案され、それぞれの議案は、請願、陳情と共に3つの常任委員会と一般会計予算特別委員会に付託して審議が行われました。

最終日の本会議では、各委員長から審査結果の報告（詳細は、11〜13ページに掲載）を受けた後、採決が行われました。

一般会計予算特別委員会 共通商品券発行支援にかかる 予算削除の提案は否決

採決の結果、市長提案の議案12件は原案可決、請願2件を採択、広域防災拠点機能を有する横手体育館（よこてアリーナ）の建設推進を求める請願については、賛成少数により不採択、陳情1件の取り下げを承認し、1件を採択、1件を継続審査としました。

また、国に対し意見書を提出しようとする議案案1件を全会一致で可決しました。

一般会計補正予算の審査については、各常任委員会の所管する事項を審査する3つの分科会を設置し、それぞれの分科会に委嘱して審査を行いました。

6月定例議会最終日は本会議に先立ち一般会計予算特別委員会を開催して各分科会長の報告を受けました。結果については、厚生分科会と総務文教分科会では、原案のとおり可決すべきものとし、産業建設分科会では、否決すべきものと決定したとの報告でした。

この報告を受け、横手市共通商品券発行支援にかかる予算を減額する修正案が、議員4人から提出されました。

共通商品券は、地元の商店で買い物をしていただくことを目的に補正予算として出されたものでした。

修正案を提出した議員が趣旨説明を行い、「事業の制度設計上、一番大事な全体事業費や市の補助期間、目標とする具体的な事業成果等、補助

賛否一覧表 (平成28年6月定例会)		議決結果																										
会派・議員名	公明党	日本共産党	新風の会				さきがけ				市民の会				新政会				みどり塾	蒼生	表決数		議決結果					
			立身万千子	斎藤勇	青山豊	加藤勝義	佐藤誠洋	高橋聖悟	木村清貴	寿松木孝	播磨博一	塩田勉	佐々木喜一	本間利博	菅原正志	阿部正夫	齋藤光司	菅原恵悦			佐々木誠	小野正伸		遠藤忠裕	土田祐輝	佐藤清春	佐藤忠久	高橋和樹
①議案第99号	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	9	可決
②請願28第2号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	15	不採択

○：賛成 ●：反対
・佐藤忠久議長は採決に加わりません。
・採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました

◆請願・陳情の審査結果◆

請願3件、陳情3件が審査され、賛否が分かれた左記以外は次のような結果になりました。（敬称略）

採 択

- ・道路拡幅及び排雪についての請願（一本柳町内会 会長 木元準一郎）
- ・旭公園のトイレ改修についての請願（横手旭スポーツ少年団 団長 高橋 哲也）
- ・子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求めることについての陳情（秋田県社会保障協議会 会長 渡辺 淳）

継続審査

- ・福地小学校跡地に地区交流センターを建設することについての陳情（雄物川地域づくり協議会 会長 佐藤誠 ほか1名）

陳情者の申し出による取下げ

- ・ゴミ集積庫設置のための道路占有許可についての陳情（横山町 町内会長 高橋 慶一）

- ①平成28年度横手市一般会計補正予算（第1号）
- ②広域防災拠点機能を有する横手体育館（よこてアリーナ）の建設推進について（横手商工会議所 会頭 奥山 和彦 ほか10名）

広域防災機能を有する横手体育館（よこてアリーナ）建設推進についての請願審査

この請願は、横手商工会議所、よこて市商工会、横手市体育協会など、市内11団体が881名の署名を添えて提出したもので、議員4名が紹介議員として署名し、実現に向け再検討するよう要望したものです。

審査を付託された総務文教常任委員会では、不採択すべきものとの決定でした。

事業としては数字があいまいである。地方創生の第一歩としたいというところであるなら、今一度ゼロから精査指導をし、地場産業の活性化、経済活動の拡大のための補助金にしてほしいと願い、修正案を提出する」との説明でした。

修正案に対する採決の結果は、賛成7名、反対15名（定数26、欠員1、欠席1、退席1、委員長除く）で修正案は否決されました。

その後、もともとの補正予算案について採決したところ、賛成多数で可決されました。

意見書を国に提出

すべての子どもを対象とする国の医療費助成が制度化されるまでの間、地方自治体が行う子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を廃止するよう、関係行政庁に要望するものです。

（菅原 恵悦）

起立採決の結果、賛成9名、反対15名（定数26、欠員1、議長除く）で不採択となりました。

ポータル市条例に基づいた施設があればいいというところは共通の認識と思う。方法論などの違いはあると思うが、多くの署名が寄せられている民意を考えると検討の方向で動いてもらうためにも願意を受け入れることに賛成する」との討論があり、また、反対の立場から「大型施設を市単独で新設するのはリスクが大き。既存施設の再編が喫緊の課題であり、地に足の着いた施策の展開を優先すべきであるため反対する」との討論がありました。



本会議では、賛成の立場から「ス

ココが聞きたい

一般質問で市政を問う

6月20日から22日に行われた一般質問では、12人の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

各質問の内容は、紙面の都合上、要約して掲載しています。すべての質疑内容は、市議会ホームページの「議会広報」⇒「市議会中継(録画)」で視聴できます。

また、質疑全文を記録した「会議録」は、8月下旬から市内各図書館でご覧いただける予定です。

NEW! 今号から各議員の氏名右側に「二次元コード」を掲載しています。スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、一般質問の録画中継をYouTubeでご覧いただけます。



Q 歴史を生かしたまちづくり計画の進捗状況は？
A 平成30年度に国の認定を目指している

加藤 勝義 議員

●文化的遺産の保存及び利用について

問 各地域に分散保管されている遺物の保存と「横手を学ぶ郷土学」事業にも利用できる環境整備として、一元管理できる保管庫を含むデジタルセンターの検討状況は。

答 市内各施設に遺物など段ボール箱約7200個分が非公開の状態に保管されている。貴重な文化遺産の散逸を防ぐためにも、学びの拠点としての機能を持つデジタルセンターの設置を今後検討する。

問 合併前から各地域に分散保管してある公文書の管理と、公文書館の必要性は。

答 市内25カ所の公共施設に、約16万6千冊の公文書の保存を確認している。適正な環境で保管するため、空き校舎の利



●歴史まちづくりについて
問 歴史まちづくり法を活用した、歴史的風致維持向上計画の進捗状況は。
答 この計画の認定は、国土交通、農林水産、文部科学の各主務大臣が行う。この策定を契機として、横手ブランドの魅力向上と全国展開を図り観光交流人口の拡大が期待できる。認定にあたっては事前相談が2年にわたって行われる。現在、事前相談に必要な基礎調査を実施しており、平成30年度の認定を目指している。

■その他の質問
 ・映画版DOMONくん

Q 新たな地域づくりと組織体制は？
A 現在、庁内で検討を重ねている

遠藤 忠裕 議員

問 地域づくりの仕組みについて検討していくとのことだが、どのように進んでいるのか。

答 事業の必要性、効果等を評価しながら、議会、地域住民とさまざまな視点から意見交換していく。

問 地域づくりの中心施設と位置づけ、公民館の交流センター化を進めているが、現在の状況、今後の対応について伺う。

答 地域の特性を生かした地域づくり活動などの自主的な運営がされている。広い年齢層から活動への参加者が増えており、地域の結びつき強化や、防災意識の高揚などが現れ、効果があると検証した。今後、地区交流センター化については、地域づくりの組織体制と併せて検討を進めていく。

問 各地域には、これまで築き上げてきたいろいろな伝統や文化、行事がある。

私の地域でも、沼入りぼんでん、東北で1カ所しかない2種類の「ハリザッコ」が生息するびわ沼がある。また、94回の開催を数える平鹿町マラソンがある。今回予算がつかず中止となった。なぜなのか。

答 マラソンについては、今年新たに、仮称だが横手シティマラソンを開催することとした。予算の関係もあり、あやめマラソン、さくらんぼマラソンには、予算がつかなかった。



■その他の質問
 ・市民の安全、安心について

Q 農地集約助成金の減額への対応は？
A 関係機関と協議を尽くす

寿松木 孝 議員

問 平成28年度より機構集積協力が大幅な減額となるようだが、平成27年度末に契約締結済みとなっていた方々が多数いると聞いている。年度をまたいだことにより減額となる方々の状況を伺う。

また、平成28年度から交付単価が下がるとされているにもかかわらず、なぜ多数の方々の申請が年度をまたいでしまったのか、その原因と救済策についての考えを伺う。

答 経営転換協力は、当初は平成30年度まで減額にならない固定の単価設定になっていたため、その前提で事務を進めてきた。

ところが、今年2月24日の東北農政局による秋田県全体会議で、機構集積協力金の交付要件と単価の変更の説明があり、詳細は示されなかった。その後、県に再三情報提供を求めてきた



が連絡はなく、経営転換協力量等3つの協力量については、今年度の交付基準の通知が届いたのは5月30日だった。この交付単価等の変更に伴い、今年3月に契約締結した231名の方については、昨年度と同様の条件で貸し付けた場合でも減額となってしまう方が出ることが予想される。

市としても一方的な制度変更は受入れ難く、従前の交付単価を維持されるよう関係機関と連携し、国・県に強く要望していく。

■その他の質問
 ・情報発信のあり方他1件

Q 十文字地域局庁舎建設時期は？

A 合併特例債の適用期間である平成32年度までの完成を目指す

佐々木 誠 議員



問 十文字庁舎建設計画の進捗状況について問う。

答 十文字庁舎建設検討委員会から提出された庁舎建設基本構想を基に、現庁舎周辺の公共施設などを含めた住民の交流拠点化等について検討を重ねてきた。

問 今後の「建設時期」の見通しについて問う。

答 合併特例債の適用期間である平成32年度までに完成できるように取り組む。

問 自殺対策基本法の一部が改正され、平成28年4月1日から自殺対策計画は市町村で定めることになった。当市の自殺対策計画を問う。

答 県では国のガイドラインに合わせて計画策定に着手する予定であり、県の策定状況を見極めながら当市の計画策定の準備を進めていく。

問 横手市農業委員会は、平成30年4月1日から新体制になる。新体制になると



十文字地域局庁舎

市長の意向が反映されやすくなる。横手市農業委員会をどのように位置づけて進めていくつもりか所見を問う。

答 平成28年4月より施行された改正農業委員会法では、公選制から市長の任命制となる。当市では平成30年4月1日から適用となる。当市は県内において大仙市に次いで2番目に大きい農地面積を保有していることから、農業委員が農地利用の最適化業務を遂行できるように十分な定数を確保するとともに一層の組織強化に向けた取り組みを期待する。

Q TPPに頼らず、地域農業こそ大事

A 国・県の事業に市単独事業を組み合わせることで推進していく

斎藤 勇 議員



問 国ではTPP対策として「攻めの農業」や「強い農業」などという形で施策を進めているが、市としての方向性を問う。

答 市では、国のTPP総合対策本部が示した政策大綱に基づき、国や県の対策事業を最大限活用しながら進めている。今年度は、畜産クラスター事業や産地パワーアップ事業など、農業者の生活基盤の強化に取り組んでいく。

問 農地集約や大規模化することが、足腰の強い安定した農家経営になるのか。地域の担い手が少なくなることに伴う農業の衰退、地域の衰退に対する対策は。

答 市では、集落営農や農業生産法人の組織化による経営の安定化や規模拡大による所得向上に向けた取り組みを支援し、担い手の確保や育成に努めてきた。また、規模の大小を問わず、



TPP 反対のデモ行進

市の振興作物を作付けする農家などに対して、水田利用緊急支援対策事業や堆肥購入費用の一部を助成する野菜生産力向上助成事業などを実施している。今後関係機関と連携して農業経営の安定化に取り組んでいく。

問 TPPが与える影響に対する市の対策は。

答 これまでの経営所得安定対策や市単独事業をさらに推進し、農業所得の向上を目指して取り組んでいく。また、国・県の動向把握に努め、必要な対策を検討していく。

Q 関東地区の大学との協定締結の必要性は？

A 関東はもちろん、仙台圏や他の地域の大学との連携も必要だ

青山 豊 議員



問 地域社会が直面している課題を解決するための手段として、大学と連携し、大学が有する資産を活用していくことは意義あるものと思うが。

答 高度な研究を行う大学との連携を図ることはとても重要だ。

問 横手市が推進する政策にのっとり、その上で「Uターンを促進する」という戦略的な意味からも、関東地区の大学との協定締結を検討すべきだ。

答 県内からの進学者が多い関東圏はもちろん、仙台圏や他の地域の大学との連携も必要だ。現在、関東圏の大学との連携を検討している。

問 答弁では「協定」という言葉がなかった。戦略的な意味からも連携・協力ではない「協定」の重要性を申し上げたのだが。

答 協定を結ぶためには、



金沢柵推定地金沢城跡の考古学実習を行う青山学院大学の学生たち

その大学と深い関係でなければならぬ。この大学の取り組みがいかからと、いきなり訪問しても難しい。**問** 私は「いきなり」とは言っていない。今、各部署が連携している大学の資産を全市的に広げられるという意味でも協定へのステップアップは必要だ。

答 大学が「横手市と協定を結ばなければならぬ」と思うような施策までもっていかねばならないと思う。努力したい。

■その他の質問
・ふるさと納税について

Q まちづくりとしての交通政策は？

A より効率的、効果的に施策展開を図る

高橋 和樹 議員



●市政運営の検証について
問 市政懇談会の結果と市長の得たものは何か。

答 参加人数の多少に関わらず地域特有の課題など、じっくりと懇談できた。今後、気軽に多くの市民の皆様が参加できる懇談会の開催に向けて検討する。

問 地域情報通信基盤整備推進事業の検証と展望は。

答 一番の成果は市内の光ブロードバンドエリアのカバー率が100%に到達し、地域間の情報通信基盤環境の格差は正が図られたことである。公共施設についても、防災拠点へのWiFi環境整備を進めたい。

問 市長の考える「人材育成」とは何か。

答 市の職員に対し、地域活動に率先して参加し地域貢献するよう求めている。地域から学び浴け込むことで得られる情報は貴重であり、行政運営に資すること



住民主体で行われた買い物送迎支援実験

ろが大きいと考える。また、新たな地域づくりの仕組みを検討している中で、地域の担い手の育成についても今後強化して取り組むべき課題であると認識している。**問** 総合的なビジョンの展望は。

答 交通弱者や免許返納後の移動手段の確保を図り、地域に適した生活サービスの維持、確保に向けて関係機関や公共交通活性化協議会との連携を密に取り組み。

■その他の質問
・高齢者の貧困問題
・地域要望に取組む姿勢

Q 防災計画の見直しやハザードマップの計画は？

A ハザードマップを改訂し、来年度中に全戸配布を目指す

土田 百合子 議員



●災害対策について
問 廃校舎がある地域の避難所の今後のあり方や、避難所への看板の設置を検討すべきである。

登録に向け関係部署と協議し、検討する。
●介護者負担を軽減する「介護ロボット」の導入について

問 ハザードマップの見直しに合わせ、災害時に住民がどこへ避難すればよいか周知を図る。「避難所看板」については、ハザードマップの見直しや避難所マニュアルの策定後、ヘルポート標識を含め、速やかに設置を進めていく。

問 ロボットの貸し出しや活用方法を学べる場が必要と考えるがどうか。また、在宅介護ロボット購入に対する市の助成の考えは。

問 高齢者、障がい者などの災害弱者を受け入れる「福祉避難所」について。

答 活用方法を学べる場については、今回導入する事業者と連絡調整をして、ロボット見学者希望の受け入れ協力を依頼していく。なお、在宅介護者へのロボット貸し出しや購入時の助成については、今後の国や他市町村の動向をみて検討する。

答 福祉避難所として、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、通所介護事業所を指定している。有事の際、課題となるのが災害弱者の支援にあたる看護師、介護士等の専門職の確保である。退職した方々のボランティア

問 空き校舎の今後の対応が不安に感じている。今後の対応方針と空き校舎の住民利用について伺う。

答 市の政策として他の用途で活用するか、民間企業に貸付や譲渡をするか、運営コストや事業効果を勘案し検討していく。地区住民の利用については、再び市が運営施設として活用するか、市民団体が主体となつて運営する方法が考えられる。



介護福祉施設に設置されているロボット「ペッパー」

問 空き校舎の今後の対応が不安に感じている。今後の対応方針と空き校舎の住民利用について伺う。

問 空き校舎の今後の対応が不安に感じている。今後の対応方針と空き校舎の住民利用について伺う。

答 市の政策として他の用途で活用するか、民間企業に貸付や譲渡をするか、運営コストや事業効果を勘案し検討していく。地区住民の利用については、再び市が運営施設として活用するか、市民団体が主体となつて運営する方法が考えられる。

問 旧金沢中への民間企業からの問い合わせと契約に至らなかった理由を伺う。

問 空き校舎のプールに水も放置状態だが、安全確認等の管理状況を伺う。

本問 利博 議員



Q 空き校舎の今後の対応は？

A 横手市財産経営推進計画に基づき検討し決定していく



問 旧金沢中体育館の体育施設としての利用は可能か

問 旧金沢中体育館の体育施設としての利用は可能か



水を抜く前の旧横手西中学校プール

答 5件の問い合わせがあったが、敷地までの進入路が狭いことや、建物規模が大きいためなどで契約に至らなかった。

問 旧金沢中体育館の体育施設としての利用は可能か

答 旧金沢小を金沢地区総合交流施設として整備して

問 旧金沢中への民間企業からの問い合わせと契約に至らなかった理由を伺う。

問 空き校舎のプールに水も放置状態だが、安全確認等の管理状況を伺う。

問 空き校舎の今後の対応が不安に感じている。今後の対応方針と空き校舎の住民利用について伺う。

問 空き校舎のプールに水も放置状態だが、安全確認等の管理状況を伺う。

問 空き校舎の今後の対応が不安に感じている。今後の対応方針と空き校舎の住民利用について伺う。

問 空き校舎のプールに水も放置状態だが、安全確認等の管理状況を伺う。

Q 医療保険制度の変遷に対し、横手市はどうあるべきか？

A 制度の安定化を目指す改正だが負担の軽減と運営の安定を図る

立身 万千子 議員



奥山 豊和 議員

問 国の交付金を得るために組織を作ることだけを目指すにはいけない。多様な人たちがまちづくりについて議論できる場としてDMOを活用すべき。そのための行政の役割は。

問 域内での経済効果をより高めるため、近隣市町村との地域連携のあり方は。

問 「従来の観光関連業務にとどまらず、多様な関係者と協働しながら『観光地域づくり』を実現する」としている割に、地域に入ってきて広く市民に働きかける動きが見えない。これでは何も変わらないと思うが。

問 「従来からの観光関連業務にとどまらず、多様な関係者と協働しながら『観光地域づくり』を実現する」としている割に、地域に入ってきて広く市民に働きかける動きが見えない。これでは何も変わらないと思うが。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。



3月27日、かまくら館を会場に行われたDMOを考える～観光地域づくり勉強会～

問 4月に横手北中と十文字中の生徒が修学旅行で首都圏を訪れ、横手産野菜の販売等を通じて横手をPRしたという取り組みを、DMOの一部として戦略的に行うべき。そのことが、子どもたちにとって故郷を深く知ることにも繋がる。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。

問 国民健康保険制度改革による運営の都道府県移管に関連して、今後のスケジュールと移管後の国保運営の仕組みはどうなるか。



秋田県後期高齢者医療広域連合運営協議会の模様



菅原 正志 議員

Q 政治生命を懸けての取り組みとは？

A 将来をみすえ、長期間にわたって責任をもって臨む



●よこてアリーナ構想について

問 政治生命を懸けて提出した案が認められなかったことへの所感を問う。

答 市の将来への道筋を作ることができるとの強い思いがあったが、議会の厳しい判断をいただいた。真摯に受け止めつつも、現在も非常に残念に感じている。

問 この前後から「唐突感」や「後付け」といった議会内での批判が多くなったことへの対応を問う。

答 施策については、これまで熟慮、検討を重ねて提出している。一方、国からの様々な交付金等については、スピード感を求められるものもある。丁寧な説明を心がけ、議会や市民の理解と協力を得られるようにしていく。

●農業施策について
問 担い手確保の取り組み状況とその成果を問う。

答 「フロンティア農業者育成事業」「青年就農給付金事業」「地域で学べ農業技術研修事業」の3本に加え、関係機関と連携して、更なる担い手の確保、育成に努める。

問 自由作付けに向け、横手産米の食味基準の差別化の取り組みについて問う。

答 横手市農業再生協議会では、市場が求める魅力ある「お米」の生産により、他産地との差別化を目標にしている。また、食味値80%以上を常に達成するよう、食味値向上に向けた技術指導の推進を図っている。



8811人の願いに対して

厚生 常任委員会

土田百合子 高橋和樹 菅原恵悦 播磨博一
土田祐輝 佐藤誠洋 木村清貴 阿部正夫

空き家の管理や 国保運営等を審議

◆横手市空家等の適切な管理に関する条例

問 空家等の緊急措置において、危険な状態が切迫しているとはどのような場合をいうのか。

答 道路に面した空家等で、倒壊や雪庇などの落下により、通行している不特定多数の方に被害が及ぶ場合などを想定している。

問 緊急措置を行った場合、費用を請求する判断の基準は何か。

答 所有者に請求することが原則であるが、所有者が不明の場合や自己破産手続き、生活が著しく困窮状態にあるなど、請求ができない場合も、その基準は規則で定めるが、ケースバイケースでの行政判断になる。

問 市民等に空家の情報提供を求め、特定空家に認定されるのか。

答 特定空家等は、放置すれば倒壊など、保安上、著しい危険があると認められる状態などの空家をいう。これに該当しない空家もあり、情報提供があった場合は、市が現地調査を行い、認定の判断を行う。

◆横手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者とは、どのような方になるのか。

答 秋田県の保育所の基準を定める条例の基準案を参考にしたい。保育園等で一年程度の常勤での保育業務経験のある方、子育て支援員研修の地域型保育を修了した方及び家庭的保育者を想定している。

問 保育資格のない方が多数保育に従事することになった場合、保育の質が心配されるがどうか。

答 今回の条例は特例の措置であり、しっかり保育士の確保ができれば必要のない規定になる。懸念される点については市でも気を付けて見ていく。

◆平成28年度横手市国民健康保険特別会計補正予算

問 平成30年度に財政運営が県に移管され一本化されるが、国保税率など市民にはどう影響があるのか。また、その見込みはどうなのか。

答 県への財政運営の移管に際し

6月22日に横手北中学校3年生を代表して16人の皆さんが一般質問の様子を見学しました。議会の様子を間近に見てどんなことを感じたか、感想をお聞きました。

横手北中 議会を見学して

古川 セエコさん

横手市は年々人口が減っている。だから私は、施設などを増やすべきだと思っていたが、市議会のやりとりを聴いて、横手の貴重な資源を生かして人を呼び込むことが大切だと感じた。傍聴して本当によかった。



高橋 享佑さん

市議会を初めて見たが、緊張感があり驚いた。横手をよりよくするための議論が活発にされていて、私たちも、市民としてイベントなどに足を運び、横手の魅力やよさを再発見し、発信していきたいと感じた。



佐藤 美鈴さん

議会を傍聴し難しいと思ったが、聴いているうちに横手と市民を第一に議論されていると強く感じた。私はずっと横手で生きていこうと思っている。今後は自分たちも関わり、魅力的な横手をつくっていきたい。



岡本 萌実さん

私は、よこて版 DMOに興味をもった。地域の全ての人が担い手となって横手をPRしていくために、私たち中学生も「よこて愛」をもつことが大切だ。北中でやった修学旅行でのPR活動の意義も再確認できた。



旧田村小学校を活用した たいゆう保育園

て、国が示す全国統一の計算式を基に県は実情に合った調整を行い、市町村に納めるべき金額を通知する。市町村は、その金額を収納するため、現行の保険料率などの検討をすることになる。新制度への円滑な移行を大前提と考え、対応が検討されており、横手市の場合、税率や医療費の状況から勘案して、大きな被保険者への負担増などはないものと見込んでいる。

(土田 百合子)

産業建設常任委員会

青山 豊 小野正伸 齋藤 勇 佐々木喜一
齋藤光司 加藤勝義 佐々木 誠 佐藤清春

共通商品券発行事業 について、賛否両論

◆平成28年度一般会計補正予算
問 商工団体連携地域活性化事業（共通商品券発行事業）について。
答 この共通商品券は、地元のお店で買い物をしていただくことが地域の振興や地域の消費喚起、更に地域の経済活動の拡大につながっていくだろうと考えて、今回の提案に至った。現在、よこて市商工会で取り扱っている商品券は、平成27年度ベースで500万円強の発行実績があるようだ。これが全市に広がることで、発行額の増加が期待できると思っている。プレミアム部分の支援も検討したところだが、試算ではプレミアム部分に対して半永久的に支援をしていかなければならないことや、売れば売れるほど赤字になるという結果になったため、導入しなかったという経緯がある。
 本案について、「経済活動の促進につながるのか甚だ疑問な点がある」との反対討論、また、「市や商工団体が同じ思いを持って臨もうとしているのであれば、今年度に限り認めるべきだ」との賛成討論があり、起立採決の結果、出席者可多数と

なり、分科会長の裁決により、否決すべきものと決定した。
 ◆財産の取得について
問 LED灯具の納入について。
答 納入期限は10月31日である。11000台という数量であることから、ある程度まとまった台数を随時納入してもらうことにしている。保管は警備会社に委託し、万全を期したいと考えている。また、現在、取付方法や発注方法について検討中であり、8月か9月には取付業務を発注したいと考えている。今回の交換にあわせて街路灯台帳の再整備を検討しており、取付業務と併せて台帳再整備に係る基礎データの提出を求めている。
 委員より「この灯具は、市が実施する認定制度に基づく認定商品である。同様の制度を実施している自治体は全国に多数あるが、1億円を超える随意契約はほとんどない。そういう意味からしても、チェック体制、管理体制、保管体制には十二分に気を使ってほしい」との意見があった。



旭公園のトイレの状況を視察

◆請願（旭公園のトイレ改修）について
 「現地を視察し、抱えている問題については理解できた。現在、日常的な管理は、スポーツ少年団をはじめとした利用団体で行われているようだが、今後も引き続き、同様の管理がなされるよう確認を取りながら進めてほしい」との意見があった。起立採決の結果、起立全員により採択すべきものと決定した。
 （小野 正伸）

総務文教常任委員会

高橋聖悟 立身万千子 菅原正志 奥山豊和
本間利博 寿松木 孝 佐藤忠久 遠藤忠裕
塩田 勉

紹介議員を交えて 請願審査

◆平成28年度一般会計補正予算
問 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業について。
答 今回の支援対象は、保呂羽地区の共助組織であり、さまざまな活動実績が評価されたものと思う。この事業は保呂羽が初めてではなく、過去には、過疎集落等自立再生対策事業で狙半内地区や南郷地区が事業を実施している。また、三又地区が同事業で拠点整備や交流等の事業を展開している。
問 教育現場におけるタブレット端末の使用方法和方向性について。
答 タブレット端末を使用するのは、特別支援学級や、かがやき教室となる。児童生徒が学習に興味を持ち、意欲をもって取り組むために無料のアプリを活用して行っている。今後工夫を凝らしながら使用していきたい。
問 一般の教材としてのタブレット端末の使用についての考え方は。
答 市内の学校にはWiFi環境が整っていないが、使用するには無料アプリをダウンロードして授業に活用するしかない。今後、学校の環

境が変われば、活用方法が広がると思う。情報モラル等も勘案しながら使用の計画を立てていきたい。
問 閉校した学校の備品の管理はどうしているか。
答 再利用できるものは、他の小中学校や市役所で使い、使わない備品については、インターネット公売にもかけている。換価の可能性のあるもの、例えばピアノなど高価なものも、それ自体が使えなくても、部品として必要とする方もいると思われるので、そういった部分でもインターネット公売を検討していきたい。
 また、小中学校は地域の方々にもお世話になっている施設であり、地域の方に還元することも合わせて検討していきたい。
 ◆請願第2号 広域防災拠点機能を有する横手体育館（よこてアリーナ）の建設推進について
 この請願については、審査の参考とするため、紹介議員4名中、3名に出席を求め議論を行った。
問 財政への危惧について。
答 心配はしているが、地域振興策も重要だ。



増田庁舎のリノベーションの状況を視察

問 「スポーツ立市条例を否定した」と言われていることについて。
答 条例であるので、当然守るものだと思うので賛同している。
問 合併特例債適用事業にはなり得ない状況になったので市長は諦めた。その理解はないのか。
答 白紙撤回ではなく再度検討を望みたいのだ。
 その他「DMOとの矛盾」、「避難施設」、「機能」など関連質疑があった。起立採決の結果、起立少数により、不採択すべきものと決定した。
 （高橋 聖悟）

「議会報告会・意見交換会」を開催します

議会報告会のテーマは、

- (仮称)よこてアリーナ建設事業
- よこて農業創生大学事業

横手市議会では、市民の皆さんにより議会を身近に感じてもらうための取り組みとして、議会の活動状況や審議内容を、議員が市民の皆さんへ直接報告する「議会報告会・意見交換会」を開催しています。

今回も地区会議との共催で開催します。ぜひお近くの報告会にご参加いただき、市民の皆さんの声をお聞かせください。

【第1部】議会報告会

今年3月の定例議会で予算が減額となった「(仮称)よこてアリーナ建設事業」と「よこて農業創生大学事業」について、どのような審議がなされたのかお伝えします。

【第2部】意見交換会

市の課題について、市民の皆さんと意見交換を行います。



昨年開催された議会報告会(西地区館・十文字)

- 横手地域** (※地区名、会場、開始時間)
 - 7/19(火) 金沢地区【金沢公民館】 午後 7:00～
 - 7/20(水) 横手西地区【サンサン横手】 午後 7:00～
 - 7/21(木) 栄地区【さかえ館】 午後 6:00～
 - 7/26(火) 境町地区【ふるさと館】 午後 6:30～
 - 横手南・横手北地区(合同)
 - 【かまくら館】 午後 7:00～
 - 7/27(水) 朝倉地区【あさくら館】 午後 6:30～
 - 旭地区【旭ふれあい館】 午後 7:00～
 - 黒川地区【オアシス館】 午後 7:00～
- 増田地域**
 - 7/29(金) 増田・亀田・西成瀬・狛半内地区(合同)
 - 【増田ふれあいプラザ】 午後 7:00～
- 平鹿地域**
 - 7/20(水) 浅舞街部・浅舞北部地区(合同)
 - 【平鹿生涯学習センター】 午後 6:30～
 - 7/21(木) 吉田地区
 - 【吉田地区生涯学習センター】 午後 6:00～
- 雄物川地域**
 - 7/19(火) 大沢地区
 - 【大沢公民館】 午後 6:00～
- 大森地域**
 - 7/22(金) 大森・白山・川西地区(合同)
 - 【大森地域局】 午後 6:00～
 - 保呂羽地区【前田公民館】 午後 7:00～
- 十文字地域**
 - 7/22(金) 三重地区【三重公民館】 午後 7:00～
- 山内地域**
 - 7/19(火) 山内中央・山内西・山内南地区(合同)
 - 【山内公民館】 午後 7:00～
 - 7/21(木) 山内北地区
 - 【松川コミュニティセンター】 午後 7:00～
- 大雄地域**
 - 7/20(水) 阿気・田根森地区(合同)
 - 【大雄地域局】 午後 7:00～

チャレンジデーに議会も参加!



会議の前にラジオ体操で汗を流す議員たち



5月25日に、住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2016」が開催されました。横手市議会では、会議が始まる前の時間を利用して「ラジオ体操」を行い、イベントに参加。スポーツ振興議員連盟の青山豊会長の号令のもと、議員そろって心地よい汗を流しました。

全国市議会議長会表彰

長年にわたり地方自治の振興に尽力された功績により、5名の議員が全国市議会議長会から表彰されました。また、佐藤忠久議長と木村清貴議員には、全国市議会議長会の地方財政委員会委員として会務運営に尽力されたとして感謝状が贈られました。

- 表彰された議員は、次の皆さんです(敬称略)。
- 議員勤続15年以上 斎藤勇、佐藤清春、佐藤忠久
 - 議員勤続10年以上 阿部正夫、木村清貴



(左から) 佐藤忠久議長、佐藤清春議員、斎藤勇議員、阿部正夫議員、木村清貴議員、菅原恵悦副議長



表紙の写真は大募集! あなたの写真が議会だよりの表紙に!

横手市内で撮影した四季折々の行事や風景など「横手市議会だよりの表紙にふさわしい写真を募集します。掲載は次の発行号からです。あなたの一押しの写真が表紙を飾るかも。ご応募お待ちしております!!

◆募集内容

- 1号につき1人1作品応募でき、次のいずれにも当てはまるものです。
- ①応募者本人が、市内において発行号に近い時期に撮影した未発表のもの。写真の向きは縦、横問いません。組み写真、合成写真は不可。
- ②2～4MBのデジタルデータ(JPEG形式)で提供できること。
- ③人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。被写体が中学生以下の場合は保護者の承諾を受けてください。イベント等で多数の被写体が撮影されている場合は、個人特定性の低い風景写真とみなし、この限りではありません。
- ④個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの。

◆応募資格

市内在住、在勤または在学の方。

◆応募方法

必要事項を記載した応募用紙と写真をメールに添付して応募してください。USBメモリ等の外部記憶媒体を、横手市議会事務局へ持参または郵送したものを受け付けます。

応募用紙は、市議会ホームページから入手してください。

◆応募先メールアドレス

gikai@city.yokote.lg.jp

◆平成28年10月15日号の締切

平成28年9月23日(金)必着

◆注意事項

- ①応募写真に関する著作権、肖像権等の問題が発生した場合、その責任及び解決はすべて応募者に帰属するものとします。
- ②応募写真は、無償で横手市議会が使用することに許諾したものとします。
- ③応募写真の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、応募してから6か月は、他媒体での発表を行わないでください。
- ④採用された写真は、必要によりトリミング処理等を行うことがあります。
- ⑤記念品等はありません。



「福祉のまち横手」の 発展を願う

大森地域

照井 清祐さん（81歳）

私は、大森地域の川西、板井田に住んでいます。自宅からは、大仙市役所まで11km、横手市役所の本庁舎までは22kmという位置にあります。

横手市になって10年がたちましたが、今も買い物などは大曲方面に向うことが多いです。

「福祉のまち大森」から、広い横手に発展していき、人々が福祉に篤^{あつ}いまちづくりにいそしめるように望んでいます。

私の次男は自閉症と診断されて以来、病院や行政、通所作業施設にお世話になってきました。

ともすれば障がい者の家族として自らを閉ざしがちな問題を抱えています。健康者の方々も暖かい眼で接していただければと思います。同じ人間として、オーブンに生きていける、そんな横手市になってくれることを望みます。

議会の主な動き

平成28年4月～6月

市議会議員は、下記に記載のほかにも各々が所属する委員会等に関する会議や視察、研修などに出席しています。

4月

- 4日 広報分科会
- 5日 FM議会番組収録
- 12日 FM議会番組収録
- 13日 議会運営委員会、議員特別研修報告会、タブレット端末導入推進会議
- 15日 議会改革推進会議
- 21日 東北市議会議長会定期総会（～22日 福島県いわき市）
- 22日 産業建設常任委員会協議会
- 25日 地域協働推進研究会研修会

5月

- 2日 FM議会番組収録
- 9日 議員クラブ幹事会、産業建設常任委員会協議会
- 10日 厚生常任委員会協議会、FM議会番組収録
- 13日 全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会、広報分科会、広聴分科会、議会改革推進会議
- 18日 広聴分科会、FM議会番組収録
- 25日 全員協議会、広報分科会
- 30日 全国市議会議長会理事会（東京都）
- 31日 全国市議会議長会定期総会（東京都）

6月

- 6日 FM議会番組収録
- 7日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会、広報分科会
- 8日 総務文教・産業建設常任委員会協議会
- 9日 地域協働推進研究会研修会、FM議会番組収録
- 13日 市議会6月定例議会（～29日）
- 16日 広報分科会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 タブレット端末導入推進会議
- 22日 総務文教常任委員会協議会、広聴分科会
- 24日 産業建設常任委員会協議会
- 27日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会
- 28日 広報分科会

編集後記

原稿締切に追われ、日々過ぎて
しているこの頃です。最近、
デジタルでの作文が多く、字を
書くことが激減しました。作業
の効率上がるのは良いことだ
ですが、自筆でない分、文に角が
あるような気がし、書き手と読
み手に齟齬^{そご}が生じると感じる時
もあります。たまに子どももの書
道道具をとって心を込めると思
うのですが、不慣れで失笑をか
きます。やはりデジタルなのか
と思いつつ表現の工夫でカバー
すればいいか……。そんなことで
デジタル全開で作っている議会
だより、引き続きご愛読くださ
い。（高橋 聖悟）

◆広報広聴委員会広報分科会◆

分科会長 佐々木 誠
副分科会長 奥山 豊和
委員 高橋 聖悟



土田 百合子
高橋 和樹
佐藤 誠洋
立身 万千子
阿部 正夫